

意見交換の結果

〈Aグループ〉

テーマ1 将来像案の検討

1 将来イメージ（デザインコンセプト）

●キャッチフレーズ

- ・「多彩な交流が生まれる街なかの空間」は合っている。お祭りのイメージともあっていい。

●キャッチフレーズ グループ案

- ・お城下駅通り ～多彩な交流が生まれる街なかの空間～

●キャッチフレーズ グループ案のねらいや思い

- ・「まちのメイン」がわかるようにしたい。
- ・「言いやすさ」も重要
- ・連雀通りからすると、駅前通りが「メインストリート」といわれるのは少し抵抗がある。昔は「連ぶら」という言葉があったほど連雀も盛り上がっていた。
- ・昔は「御幸通り」だったので、格が高いストリートにしたい。

【入れたい要素】

- ①城…重要な観光資源、観光といえば掛川城
(案：城下町大通り、掛川表参道)
- ②駅…経済を生む重要な要素、いろいろな人が訪れてロマンがある
(案：駅お城下通り、城下町ステーション)

テーマ2 整備方針図の検討

方針図の検討

●全体

- ・北（市道）は歴史・観光ゾーン、中間は商業ゾーンのイメージ。（南はかつて「居住ゾーン」となっていた）
- ・どういう店舗が入るかが重要。連雀は入る店舗の条件を決めていた
- ・二の丸美術館にある「阿咩」、JR 掛川駅にある「玄」「合体」の考え方を活かして、エネルギーが循環するまちにしたい

●市道

- ・ストリートテラスの椅子をカッコよくしてほしい
- ・ストリートテラスに将棋やボードゲーム等、地元の人が遊べる仕掛けがあると子どもたちも安心して遊ばせられる
- ・E ゲーム等、最新技術は高齢者と子どもの関わりを生み出しやすい
- ・旧ねむの木ギャラリーを若者に活用してほしい

●県道

【南】

- ・お城への入り口として、ワクワク感があるといい
- ・「お城がどっちか」と聞かれる。サインがあるといい（舗装に組み込むなど）

- ・お茶の香りがする演出
- ・掛川に来たということが印象付けられるオブジェ等（武士？）
- ・一定間隔で鳥居を置くなど、城までの案内になりそうなものを置く

●ウィタス 138

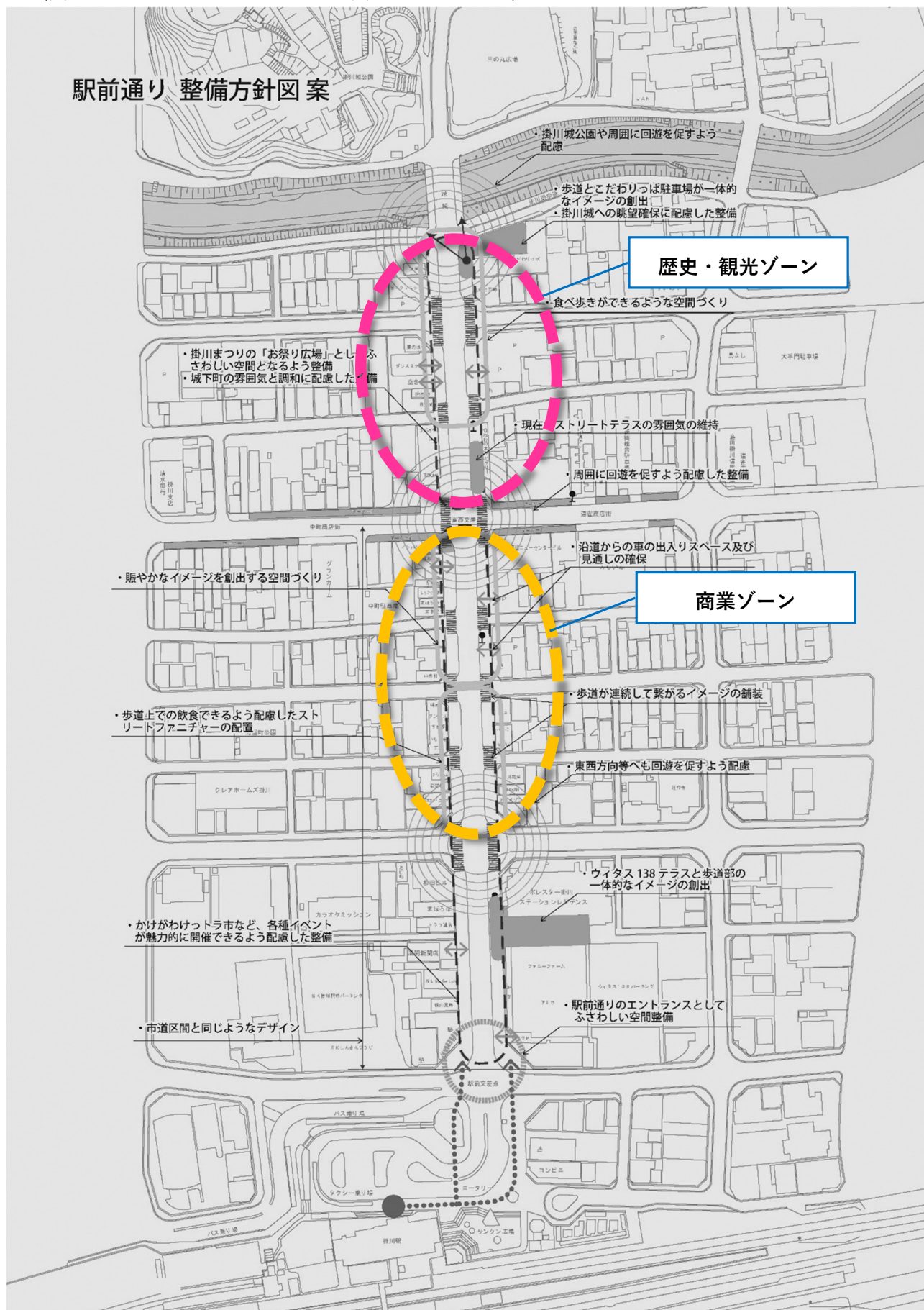
- ・壁面でお城の PR

●その他ソフトの仕組み

- ・散策ルートがほしい
- ・無人バス、VR で昔の街並みをみることができるなど、関心を持ってもらえる取組
- ・VR で昔の街並みと人々の様子がわかると面白い

(図示しないとわかりづらいものは図面上に記入する)

駅前通り 整備方針図案



意見交換の結果

B 〈グループ〉

テーマ1 将来像案の検討

1 将来イメージ（デザインコンセプト）

●キャッチフレーズ

- ・将来像＝通りの名称ではないので、決める必要がないのではないか
→目指す方向性として検討し共有する必要がある
- ・3つの候補はどれもピンとこない（縁側、テラスは田舎っぽい）
→城下町、メインストリートはコンセプトとして外せないと思う
- ・居心地、交流などは本来そうあるべき姿である

●キャッチフレーズ グループ案

- ・#三色さんぽ（三色団子）

●キャッチフレーズ グループ案のねらいや思い

- ・一つのフレーズにまとめずに、キーワードだけでもいいのではないか
→#散歩、#城下町、#集まる（今来ていない人も）、#三色団子（今は白玉≡味が無い）
- ・キャッチフレーズを先に決めなくてもいいのではないか（通りの名称は公募）
- ・掛川駅周辺は「玄関口」、中間は「飲食街」、掛川城周辺は「門前町」というイメージがある
- ・通りの名称は公募するのもいいのではないか
- ・歩いて楽しい、ブロックごとにメリハリがあるまち
→友人に掛川を案内する時には、（ポートカケガワ→蓮福寺→カケガワビール→高久書店→くすのき公園→掛川城→葛布）というルートだが、メインストリートではない

2 整備方針

●整備方針への加筆修正などの意見

- ・使い勝手がよければ、城下町的なデザインにはこだわらない
- ・ブロックごとにキャッチーなワード（特徴）を整理してはどうか
- ・整備も大切だが、目的地となるお店が無いことが課題

テーマ2 整備方針図の検討

方針図の検討

●全体

- ・すべてを同じデザインにするのではなく、3つのブロック（団子）ごとに特徴があると面白い
→玄関口～門前町のグラデーションがあるとよい
- ・3つのブロックを串刺しにするような通りであってほしいが、完全な直線である必要は無い
- ・通りは必ずしも現在のように左右対称にするのではなく、左右どちらかの歩道を狭めて、反対側に広い滞留空間を設けてはどうか
- ・現在も人気があり集客力がある個店を、路地裏ではなくメインストリートに誘致（移転）させて歩く理由にしたい

●市道

- ・こだわりっぱと連続性のある滞留空間（広場）を設けたい
→ワクワク感が増す工夫（気軽に使えるイベントスペース）がほしい
- ・路地裏へいざなう工夫や案内がほしい（例：くすのき公園）
- ・旧ねむのきギャラリー付近をもう少し活用したい
- ・掛川城公園入口のトイレは暗い。逆川沿いの道も暗く夜間は怖い

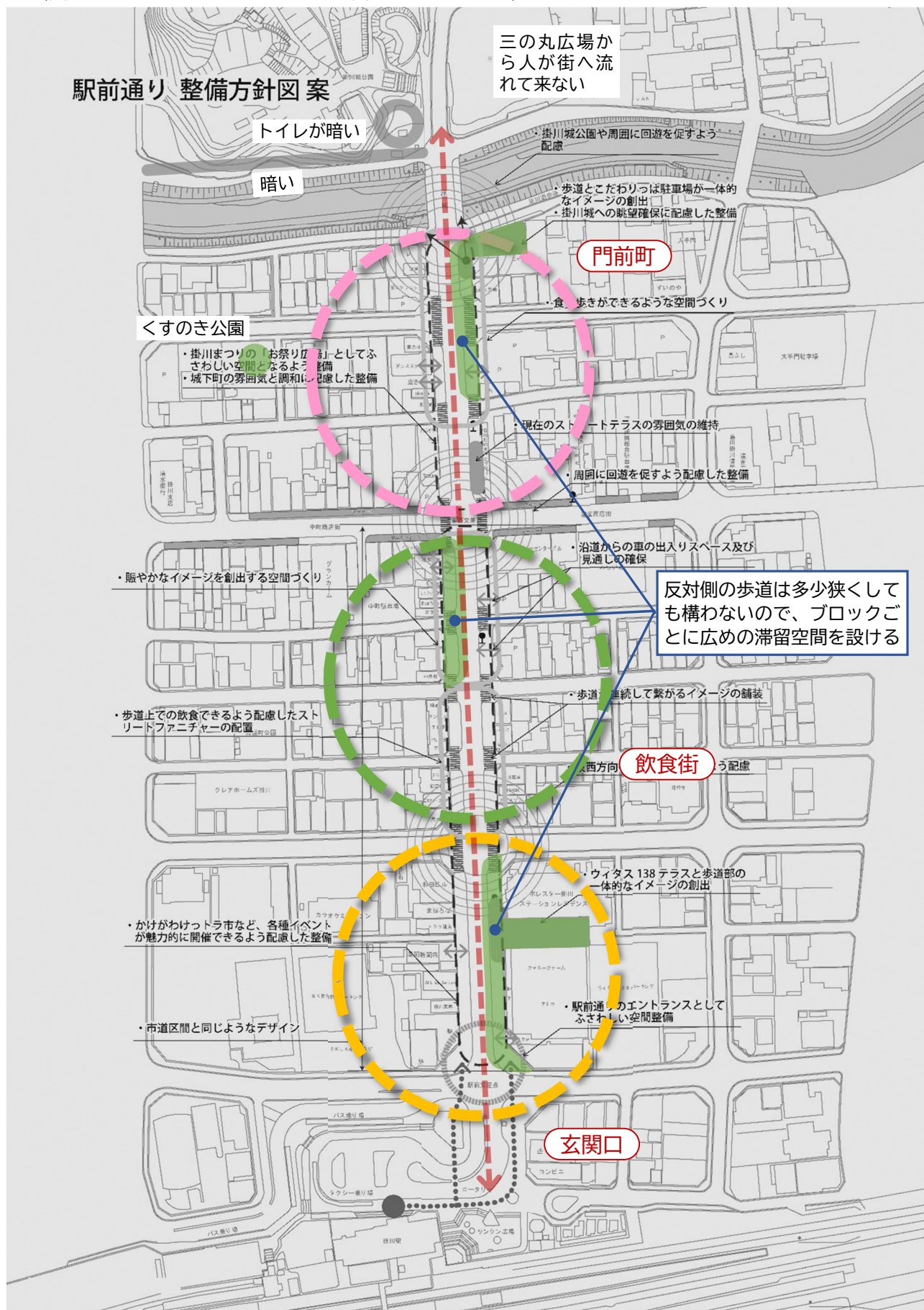
●県道

- ・イベント時の歩行が難しい（歩道が狭いため、露店が並ぶと歩きにくい）
- ・これっしか処ギャラリーは街中にあった方がよいのではないか。現在の場所では目立たずもったいない

●ウイタス138

- ・ギャラリーモールソラモ（浜松市）のような屋根付きの場所が一部でいいからほしい
→けっトラ市は雨天中止になってしまう
- ・ベジマルシェは、報徳社で開催していた時よりも来場者数が少なくなった

(図示しないとわかりづらいものは図面上に記入する)



意見交換の結果

〈Cグループ〉

テーマ1 将来像案の検討

1 将来イメージ（デザインコンセプト）

●キャッチフレーズ

- ・「メインストリート」は少し違和感がある。
- ・「城下町テラス」とも県道の方には当てはまらない。
- ・「多彩な交流が生まれる」は合っている。多様な人々が過ごす空間のイメージ。

●キャッチフレーズ グループ案

- ・お城側を「和」、駅側を「輪（人々の交流）」としてもおもしろい。（尾崎先生アイデア）

●キャッチフレーズ グループ案のねらいや思い

- ・北（市道）と南（県道）では異なるゾーンであり、ひとつにまとめる必要はない。
- ・「駅前通り」は違和感がある。県道区間は「駅通り」と呼んでいる。

テーマ2 整備方針図の検討

方針図の検討

●全体

- ・駅からお城まで、変化を楽しめると良い。
- ・北（市道）と南（県道）は異なるエリアという認識。そのため街並みを統一する必要はない。県道の街並み改善は地権者から賛同を得られず難しいだろう。
- ・街灯をLED化してほしい。

現状）

- ・風は強く、夏は暑いので、人が歩かないし、滞在しないと思う。
- ・そもそも昼の店（経営）が成り立ち難い。
- ・たばこやごみのぼい捨てが多い。きれいになれば捨てなくなるかも。

【みどり】

- ・サクラは見通しが多少悪くなるかもしれないが、カケガワザクラとの繋がりが感じられて良い。
- ・植栽部分が広すぎるので、それらを無くせば歩道を広げる必要はないと考える。

現状）

- ・昔はプランターで花植えしていたが、今はやる人がおらず、手入れされていない。
- ・木が育ちすぎている。
- ・県道の緑の管理を一人でやっていて大変。

【ベンチ・テーブル】

- ・イベント時の使い勝手の良さを重視して、実用性の高い整備にしてほしい。
- ・テーブルの出し入れが大変であるため常設は良い。
- ・屋根付きベンチ等は過去にも検討したことがあるが、コストがかかるので断念した。

●県道

- ・駅からお城へ誘導するには、まず駅前の交差点から見た時に見通しが良いとか、明るい雰囲気を感じられることが重要。通りの真ん中まで来ると、何もないと思って引き返す人が多いので、真ん中街区の魅力（ワクワク感）をつくることや、そこから先に進みたくする魅力的な風景があ

るとよい。

- ・軽トラ市などイベントやるにあたって、車道を狭めてほしくない。

(現状)

- ・駅前側の街区は特に治安が悪い。
- ・(樹木を無くして) 見通しを良くして、明るい雰囲気にしたい。
- ・駅から見たときに、行ってみようと思える雰囲気がない。来訪者は不安に感じるのでは？

●ウィタス 138

- ・広場、歩車道空間と一体的に使うことを考えると植栽帯は無い方がよい。

(図示しないとわかりづらいものは図面上に記入する)

駅前通り 整備方針図案

